

(様式第1号)

令和7年1月25日

大 阪 市 長

住 所 大阪市北区中之島1-3-20

(法人その他の団体にあっては
主たる事務所の所在地)

ふ り が な
氏 名 ○○○○実行委員会

(法人その他の団体にあっては
その名称、代表者の氏名)

じっこういいんかい
いいんちょう おおさか たろう
委員長 大阪 太郎

大阪市姉妹都市交流推進事業補助金交付申請書

標題の補助金について交付を受けたいので、大阪市姉妹都市交流推進事業補助金交付要綱第6条の規定により、次のとおり申請します。

1 交付を受けようとする補助の種類

☐ チャレンジ枠 (上限 20 万円)

☒ ステップアップ枠 (上限 50 万円)

2 交付を受けようとする補助金の額及びその算出の基礎

(1) 補助金の額 金 470,000 円

(事業費総額 金 1,032,724 円)

(2) 算出の基礎 別紙「収支予算書」のとおり

収支予算書の①の金額を記載

収支予算書の A の金額を記載

3 補助対象事業の名称、目的及び内容

(1) 名称 △△△作りを通じた姉妹都市交流

(2) 目的 □□市から△△△作りの講師を招聘して大阪市内でワークショップを開催し、△△△を通じて姉妹都市である□□市の理解を深める。

(3) 内容 別紙「事業計画書」のとおり

3 ページ目「2.申請事業」の「(1)名称」を記載

4 補助対象事業の開始日及び完了予定日

令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

5 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

(3) 団体の定款、寄附行為、会則又はこれらに類する団体の存在が証明できるもの

6 概算払いを希望する経費及びその理由 ※概算払いを希望しない場合は記載不要

事業計画書

1. 申請団体

(1)所在地	〒530-8201 大阪府大阪市北区中之島1丁目3-20 ※法人の場合は定款に定める住所、その他は連絡・通知できる事務所等の所在地	
(2)団体名	〇〇〇〇実行委員会 ※主催者が国・府及び地方公共団体若しくは、姉妹都市・外国政府機関・総領事館等の海外の公的機関以外であること	
(3)代表者職・氏名	委員長 大阪 太郎	
(4)担当者 住所は(1)と同じ場合は不要	(フリガナ) ナニワ ハナコ 氏 名 浪速 花子 住 所 〒 T E L 06-1234-5678 F A X 06-1234-5679 E-mail xxxxxxxxx@xxxx.com	
(5)設立年月日	平成28年4月1日 ※法人の場合は法人設立年月日、その他は発足・結成の年月日	
(6)活動状況・実績	大阪市民と〇〇市民の相互理解の深化と交流促進を目的として、双方の文化や風習を紹介するイベントを定期的で開催している。 ①大阪の食文化紹介イベント@〇〇市（平成28年10月、平成30年11月） ②〇〇市の食文化紹介イベント@大阪市（平成29年7月、令和元年7月） ③大阪市・〇〇市オンラインツアー（令和2年12月、令和3年9月） ④大阪の伝統工芸品作成ワークショップ@〇〇市（令和4年10月） 姉妹都市交流推進事業を開始した年月（平成28年10月） ※できるだけ具体的に記載し、姉妹都市交流推進事業を開始した年月及び活動内容等がわかるものを添付してください（過去に提出している場合は省略可）	
(7)構成団体 申請団体が複数の団体で構成されている場合、その構成団体について記載してください（行は適宜追加してください）	①（団 体 名） （代表者職・氏名） （所 在 地） ②（団 体 名） （代表者職・氏名） （所 在 地）	

2. 申請事業

(1) 名称	△△△作りを通じた姉妹都市交流
(2) 概要（要旨）	□□市の名産品である△△△の職人を講師として招聘し、大阪市内でワークショップを開催する。大阪市民の方々に△△△作りを体験してもらい、姉妹都市である□□市のことを△△△を通して理解を深めてもらう。
(3) 具体的内容	誰を（何を）対象に、いつ、どこで、何をするのか等、具体的に記載してください
① 対象	□□市や△△△に興味のある大阪市民
② 実施期間・日時	令和7年8月2日（金） 14時～16時
③ 実施場所	・○○○ホール ・オンライン
④ 内容	【前半】□□市と△△△についての講演会（14時～15時） □□市から招聘した△△△職人2名による講演会を開催し、□□市や△△△のことを紹介していただく。 また、大阪に対する印象や、大阪滞在中に感じたことについても紹介していただく予定。 終盤には聴衆からの質疑応答も実施する。 ※インスタライブ及びYouTubeライブにてオンライン配信も行う予定。 【後半】△△△作りワークショップ（15時～16時） 事前に公募した参加者30名を対象に、職人及びサポートスタッフの協力の下で△△△の作成体験を実施する。 完成した△△△は写真に収め、当実行委員会のHPに掲載するほか、職人のSNSアカウントでも紹介していただく予定。

3. 事業の目的及び効果

①目的	前半部分で□□市や△△△の説明を行い、後半にワークショップを行うことにより、何故△△△が生まれたかという地理的・歴史的背景を直接手で感じていただく。 地域固有の特性や事情を感じることで、□□市に対する理解を深め、同市への興味や関心を高めてもらう。
②効果 申請事業を実施することにより期待される効果・目標値も含めた達成目標を明確に記入してください。	・異文化に対する認識を向上させ、多文化共生社会の実現に寄与する。 ・□□市への興味や関心が高まることにより、今後の姉妹都市交流が促進される。 ・大阪市と□□市の橋渡し役となる人材が育成される。 ・他国の言語を学習するという意欲の向上につながる。 「想定交流者数」＝「事業参加者」＋「事業実施者」 * 想定交流者数 <u>230</u> 人 （事業参加者 <u>215</u> 人、事業実施者 <u>15</u> 人、うち市民 <u>150</u> 人） * 関係（公的）機関との連携 <u>5</u> 団体 内訳：国内 <u>大阪市、大阪市立〇〇小学校</u> 国外 <u>□□市役所、□□市立大学、在□□日本国領事館</u> 例）姉妹都市・外国政府機関・総領事館等との共催、後援、協力等

＜参考＞選考基準

- ・姉妹都市交流について広く市民と共有できること ＜交流の共有＞
- ・国内外の関係(公的)機関との連携のもと、姉妹都市間の交流を促進できること ＜協働・連携、公共性＞
- ・継続的な効果の波及、今後の発展が期待できること ＜継続性・発展性＞
- ・応募事業を確実に実施できる能力・組織体制を有していること ＜実現性＞

4. 事業のアピール内容

3②の効果のほか、事業のポイントやアピールできる点があれば具体的に記入してください。

平成 28 年に姉妹都市交流事業を開始して以降、大きなトラブル等もなく毎年何らかのイベントを実施しているため、当事業についても実現性が高いところが特徴である。

「△△△作り」をフックにし、□□市のことや、大阪市と□□市が姉妹都市であることを広く周知することを目的としており、そのためにオンライン配信や SNS 発信にも注力し、より多くの方が当事業を部分的にでも見るように工夫している。

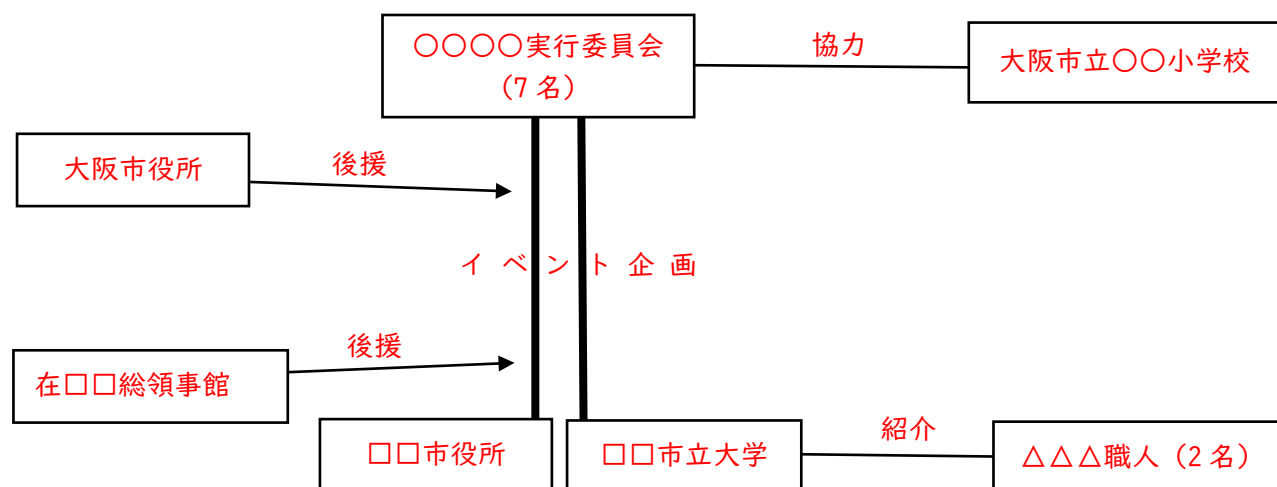
「交流の共有」「協働・連携、公共性」「継続性・発展性」「実現性」の観点から事業のアピールポイントを記載

5. 事業のスケジュール

年月	活 動 内 容	各期の目標設定
令和 7 年 4 月 ┆ 令和 7 年 5 月	・ △△△職人へワークショップ講師の依頼状送付 ・ イベント内容の打合せ、確定 ・ 航空券、ホテル、イベント会場等の手配	
令和 7 年 6 月 ┆ 令和 7 年 7 月	・ ワークショップ参加者公募 ・ イベント案内チラシ作成 ・ SNS 等による広報 ・ イベント実施に係る最終確認	
令和 7 年 8 月 ┆ 令和 7 年 8 月	・ イベント開催	・ ワークショップ参加者へのアンケートによる満足度 80%以上 ・ ライブ配信視聴者数 100 名以上
令和 7 年 9 月 ┆ 令和 8 年 3 月	・ 報告書作成 ・ 精算処理 ・ 関係各所へのフォローアップ連絡 ・ 次回開催に向けた調整	

6. 事業実施にあたっての組織体制

当該事業に従事する人数、役職、組織図・体制図などを具体的に記入してください。



收支予算書

事業の実施（事業実施期間：令和7年6月中旬から令和8年3月31日）にかかる収支計画について記入してください。

■収入の部

(単位：円)

項 目	具 体 的 な 内 容	積算根拠（単価×回数）	金 額
自己資金			547,724
借入金			
事業収入（参加費等）	ワークショップ参加費	¥500×30名	15,000
他機関からの補助金、助成金等＊			㊦ 0
本市補助金	大阪市姉妹都市交流推進事業補助金		㊦ 470,000
合 計			A 1,032,724

* 国・府及び大阪市、その他地方公共団体若しくは対象事業に補助金・助成金等の交付を受けている事業は、当額を助成対象経費から差し引きます。

本市補助金＝（支出の部D－収入の部㊦）×1/2
（千円未満は切捨て）

ら、補助
。その相

A=C

■支出の部

適宜、行を追加して詳しく記載してください。

(単位：円)

項 目	具 体 的 な 内 容	積算根拠（単価×回数）	金額（税込）	金額（税抜）
① 旅費交通費	航空券（関空⇄□□市）	¥242,000×2人	484,000	440,000
① 旅費交通費	ホテル代（××ホテル）	¥9,900×5泊×2人	99,000	90,000
② 消耗品費	画用紙（A3、50枚入）	¥1,760×2セット	3,520	3,200
② 消耗品費	サインペン（12色セット）	¥660×2セット	1,320	1,200
③ 印刷製本費	イベントチラシ印刷代（A4、300枚）	¥3,320×1セット	3,320	3,019
④ 燃料・光熱水費				
⑤ 通信運搬費	国際送料（□□市⇒大阪）	\$42.80×4個×¥144.21	24,688	24,688
⑤ 通信運搬費	切手代（¥94）	¥94×25枚	2,350	2,350
⑥ 筆耕翻訳料	ワークショップ時通訳（4時間、1名）	¥46,000×1名	46,000	41,819
⑦ 保険料				
⑧ 使用料	会場使用料（ホール+控室）	¥155,000+5,000	160,000	145,455
⑨ 賃借料	移動車両借上（1台、2日間）	¥48,000×2日	96,000	87,273
⑩ 負担金				
⑪ 諸謝金	ワークショップ講師謝礼	\$300.00×2名×¥144.21	86,526	86,526
⑫ 賃金	補助スタッフ賃金（3名）	¥5,000×3名	15,000	15,000
⑬ 広告料				
補助対象経費総額 （①～⑬の合計）			B 1,021,724	D 940,530
補助対象外経費	ケータリング費用	¥11,000	11,000	10,000
合 計			C 1,032,724	E 950,530

*①～⑬は募集要項の３頁〔補助対象経費〕の内容に基づき、できる限り詳しく記入してください。

*収入の合計額「A」と、支出の合計額「C」の金額は同一額となります。

*補助金は、Dから「他からの補助金、助成金等」を差し引いた金額の1／2以内となります。

① = (D - ⑦) × 1 / 2 以内(千円未満切り捨て)

注) 金額の根拠を明示してください。(カタログ・見積書の添付、講師予定者の肩書き等の明記)

(注) 本事業は、大阪市からの他の補助を受けていないものに限り、ます。